

多世代がともに住み集う快適なまち

広報長浜まちなか

令和4年(2022年)

2月1日発行

発行：長浜地区地域づくり連合会
〒526-0037 長浜市高田町 12-34
長浜まちづくりセンター内
(さざなみタウン)
TEL・FAX 64-2753

さざなみタウンと米川で光のイベント

さざなみタウンで「光の祭典」

さざなみタウンが長浜まちなかの皆さんにとって身近な存在になり、いろんな活動につながっていくことを目指し、今年度も「長浜まちなかフェスタ」を開催。昨年10月末から3月21日まで、さざなみタウンでのロングランイベントです。

「コロナと向き合う地域の力ふれあいの輪」をスローガンに、これまでとは趣向を変え、初めての試みが、さざなみタウン正面に輝く「光の祭典クリスマス&シトラスリボンイルミネーション」。

10月下旬、長浜まちなかの皆さんやさざなみタウンの職員を中心にデコレーション。さらに長浜北高校の生徒の皆さんも参加し、企画やデザインを担当していただきました。

作品を作るプロセスが交流の場になっただけでなく、イルミネーションをバックにカメラにポーズをとる人など、出会いと交流の場になっています。2月末まで延長して開催していますので、是非とも、ご覧ください。

※イルミネーションの制作の様子を右記 QR コードからご覧になれます。



さざなみタウン正面玄関前のイルミネーション



曳山博物館広場での千本灯火

川面の灯りと千本灯火で温もり

今年度は、小さなスタートですが、地域の皆さんと曳山博物館、長浜まちづくり株式会社の協力により、まちなかの雰囲気に合わせて「川面の灯り」と「千本灯火」に取り組み、年末年始にまちなかを訪れる方々にぬくもりを届けることができました。

米川・川面の灯り

- ◆期間 令和3年12月20日(月)～令和4年1月9日(日)
- ◆内容 大手橋・針屋橋の両側の川面にLEDランタン、橋上に行燈を設置

米川・千本灯火

- ◆日時 昨年のクリスマスの日
- ◆内容 米川沿い(曳山博物館南広場)に「千本灯火」(LEDキャンドル千本)点灯

※一昨年の夏から米川で「とうろう流し」を開始。昨年はコロナ禍により、米川まつりとともに中止になりました。そのため、今年度はできることから、と「千本灯火」を実施。高校生 Challenge&Creation の最終報告会の高校生も点灯作業に参加しました。

「長浜まちなか連合自治会」がスタート

まちなかの9連合自治会が結集

長浜まちなかの第1～第9連合自治会が一致団結し、一つの連合自治会に結集しました。昨年12月5日に「さざなみタウン」で統合する連合自治会の設立総会が開催され、今年から「長浜まちなか連合自治会」としてスタートすることになりました。

懇談会などで住民の意見集約

第1～第9連合自治会では、「地連」（長浜地区地域づくり連合会）と共催で、平成29年度から3年間にわたり「暮らしデザイン懇談会」を開催してきました。住民の皆さんや関係団体、長浜市長をはじめ市担当課の皆さんが一堂に会して、まちなかの諸課題をテーマに議論しました。

令和元年度には、長浜まちなかの住みよさを高めるために、5年間の地域づくり計画を策定。その一環として9つの連合自治会と地連が共同で住民アンケートを実施しました。

さらに令和2年度前期に、まちなかの79自治会長を対象に「自治会の統合・再編」などを問うアンケートを実施。

これらの4年間にわたる懇談会とアンケート調査から「小規模自治会の連携・共助」と「連合自治会の連携・統合」という方向が浮かび上がって来ました。



令和元年度の「まちなか自治」をテーマにした懇談会

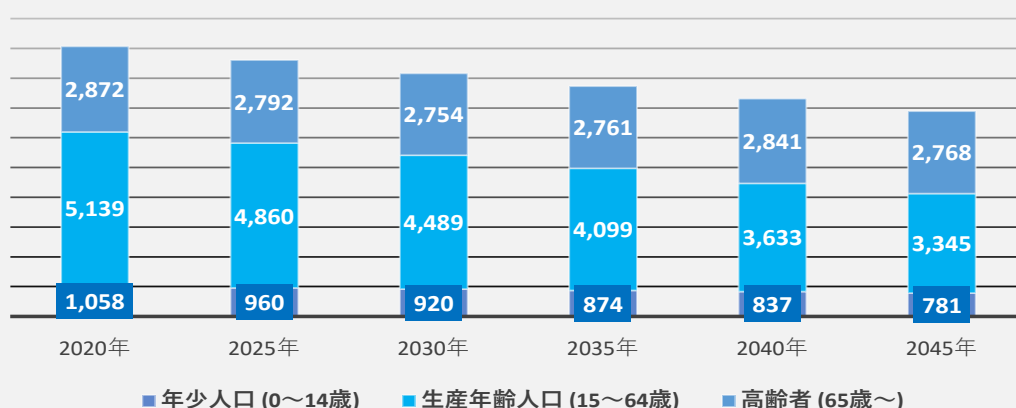
自治連携委員会立ち上げ協議

懇談会やアンケート調査の結果を踏まえ、令和2年度下半期に9連合自治会長の代表と地連の役員などを委員として検討委員会を立ち上げ、自治会と連合自治会のあり方をテーマに改革の方針を協議。①小規模自治会の連携・共助のための仕組みづくり、②連合自治会の連携・統合の仕組みづくり、という2点の改革方針を決定しました。

そして、昨年5月の令和3年度地連総会で79自治会長に上記委員会の方針案を報告。具体化に向けて協力、支援を依頼しました。

昨年6月からは9連合自治会長を中心に委員会を立ち上げ、連合自治会の改革の具体化方策を協議。11月に9連合自治会すべてで、個別に自治会長の合意を得て、委員会で「長浜まちなか連合自治会」として一本化することに決まりました。

長浜まちなかの将来推計人口



※左表は、令和元年度に滋賀大学の石井良一教授に、長浜市の将来人口推計をしていただいたもののうち、長浜まちなかの推計人口を抽出したものの。

統合の力をまちなか自治会の連携へ

従来の連合自治会は連合区に

9つの連合自治会が一つになることで、従来の連合自治会は「連合区」という名前になり、これまでの9人の連合自治会長は「区長」という役職名に変わります。

そして9人の区長の中から、新しい連合自治会長1人と複数の副連合自治会長が選ばれることになります。また、監事は前年度の区長の中から2人が選出されます。

これまで連合自治会単位で、人権学習会や川掃除、防犯活動、祭り・イベントなど、さまざまな活動が行われてきましたが、これらの活動はいつもの充実が期待されることから、引き続いて連合区で継続実施となります。組織の概要は下表のとおりです。

名称	長浜まちなか連合自治会
事務所	長浜市文化福祉プラザ内
会員	長浜まちなかの79自治会長
目的・事業	会員が連携し住みよいまちづくりを目指す。
役員	正副連合自治会長・区長・監事
役員の選任方法	区長／各連合区(従来の第1～第9連合自治会)で選任 正副連合自治会長／区長の互選で選出し総会で承認 監事／前年度区長の中から選出し総会で承認
役員の任期	1年。ただし再任を妨げない。
会議	総会／役員と自治会長で構成し年1回開催 区長会議／正副連合自治会長・区長で構成し随時開催

長浜市内の各連合自治会の自治会数・世帯数等

連合自治会名	自治会数	世帯数	人口
長浜まちなか	79	4,023	8,812
六荘	24	6,181	14,486
南郷里	21	4,530	10,630
神照	37	8,078	19,930
北郷里	10	1,769	3,986
西黒田	11	754	2,110
神田	8	474	1,147

※従来は市内35連合自治会のうち9連合自治会が「まちなか」

※上記以外の連合自治会は下記のとおり

浅井(湯田・田根・下草野・七尾・上草野)、びわ、虎姫、
湖北(小谷・速水・朝日)、高月(七郷・富永・高月・古保利)
木之本(木之本・高時・伊香具・杉野)、余呉、西浅井



設立総会での竹村氏講演「長浜まちなかづくりの次なる挑戦」

連合自治会と地連の連携協働へ

連合自治会統合のメリットは、第一に区長(従来の連合自治会長)の職務が合理的・効率的になり、会議などの負担が軽減されることです。

これまでは9人の連合自治会長が、各連合自治会の代表として同じ会議に出席することが求められてきましたが、これからは基本的に1人の代表の出席で済むことになります。

長浜市には各種審議会や委員会などがあり、市民の代表として各地区の連合自治会長が分担して、審議会・委員会などに出席することになっています。これらの会議への参加も、9分の1の負担で済むことになります。

そこで負担の軽減で生まれるパワーを、長浜まちなか全体や各連合区、各自治会など、本来の足元のコミュニティ活動に振り向けることができるようになります。

また区長の負担軽減によって、とくに高齢男性が中心だった自治会などの役職に、女性や若者が就くことが可能になり、自治活動への多様な人たちの参加が期待されます。

さらに、これまで連合自治会と地連の組織の二重性が指摘されてきましたが、連合自治会が統合されることで、両団体の一体化も促進されることが期待されます。両団体では、新年度から速やかに委員会を立ち上げて、具体的な一体化の方策を協議する予定です。

連合自治会の要望事項をまとめ市長へ要望書

昨年12月17日、9連合自治会からの要望事項をまとめ、要望書を長浜市長に提出。各連合自治会長と地連役員に加え、市議会議員の同席のもと、「長浜まちなか」が長浜市の「要」の地域であること念頭に、旧長浜図書館跡地の有効活用をはじめ、道路・河川の維持補修など11項目を要望しました。

また、昨年、市から申し入れのあった長浜文化福祉プラザの指定管理について、原点に立ち長浜地区の拠点の確保という観点から、回答と3項目を要望しました。

◆市への要望項目

- 1.旧長浜図書館跡地の有効活用
- 2.高齢者の見守りと健康づくり
- 3.単位自治会の体制整備と運営への支援
- 4.大災害を見据えた安全で、現実的な避難体制の確保
- 5.地域情報デジタル化の推進
- 6.米川の抜本的な治水対策の早期実施と地域資源としての利活用への協力
- 7.まちなか道路の維持補修
- 8.除雪対策の充実
- 9.まちなか橋梁の安全性の確保



長浜市長へ要望書を提出

10.空き家対策の推進

- 11.災害や交通量等に応じたまちなか道路の交通規制の検証

◆長浜地区の地域づくり活動の拠点の確保

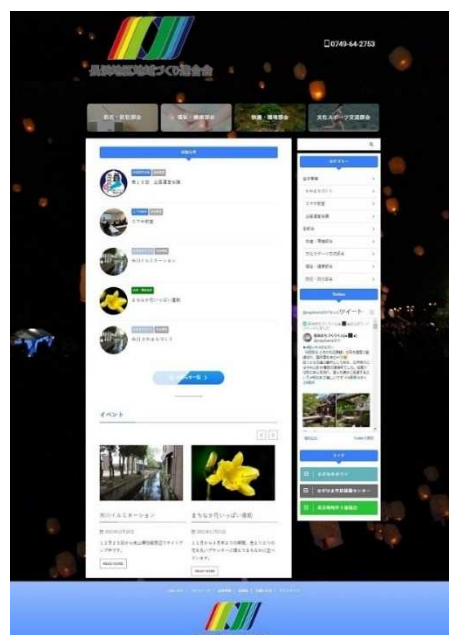
- 1.長浜まちづくりセンターの指定管理
- 2.長浜地区の住民が気軽に利用でき、地域活動に対応できるよう、長浜まちづくりセンターの地域の利便性向上に向けた施設・運用の具体的な改善策の提示
- 3.市街地のより中心的な場所において、公的な役割を担いつつも、地域づくり事業が展開できるサブ拠点となるまちづくりセンターの設置

地連のホームページをリニューアル

地連のホームページをリニューアルしました。リニューアル記念として、トップページの長浜まちなか風景動画を募集中です。イベント情報も充実させていきます。どうぞご期待ください。

地連のシンボルマークも新たに作成

地連のシンボルマークができました。インターネットで広く募集した結果、32件の応募があり、地連役員の審査により下記のマークが決まりました。真ん中に長浜地区の「N」、両側に9色のラインが入ったデザイン。「9」は9連合区を表しています。



<https://www.ntd-rengoukai.com>

